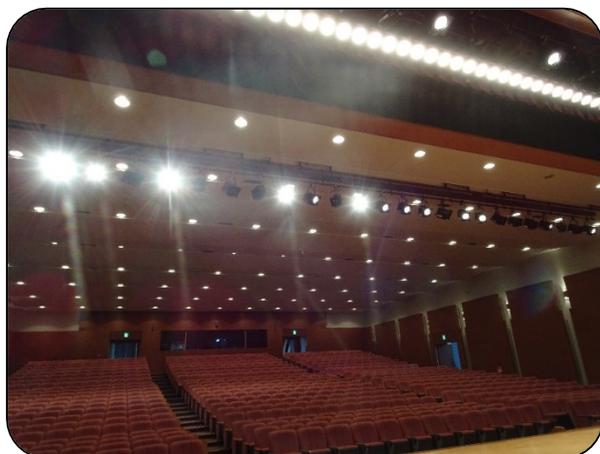


目次

- ◎大講堂設置機器一覧…2
- ◎調整室について…3
- ◎調整室機器の電源入切について…4
- ◎舞台吊物関係の操作について…5
- ◎映像機器の使用方法…6～10
- ◎音響機器の使用方法…11～12
- ◎照明機器の使用方法…13～14
- ◎天井カメラでの収録方法…15

視聴覚教育センター
Audio-Visual Education Center



◎音響関係

- ・有線マイク×4本(常設2本)
- ・無線ハンドマイク×6本
- ・無線タイピンマイク×6本
- ・マイクスタンド(床上、卓上)
- ・延長用マイクケーブル
- ・CDプレイヤー
- ・音響ミキサー

◎映像関係

(調整室)

- ・VHSデッキ
- ・BD/DVDプレイヤー
- ・外部入力(HDMI、RGB)
- ・プロジェクタ
- ・カメラ収録ワゴン

(舞台操作卓)

- ・BD/DVDプレイヤー
- ・外部入力(HDMI、RGB、コンポジット)
- ・教材提示装置

◎照明関係

- ・照明操作卓
- (客席)
- ・客席照明
 - ・通路照明
 - ・壁ブラケット照明
 - ・間接照明

(舞台)

- ・ベースライト
- ・シーリングライト
- ・サスライト

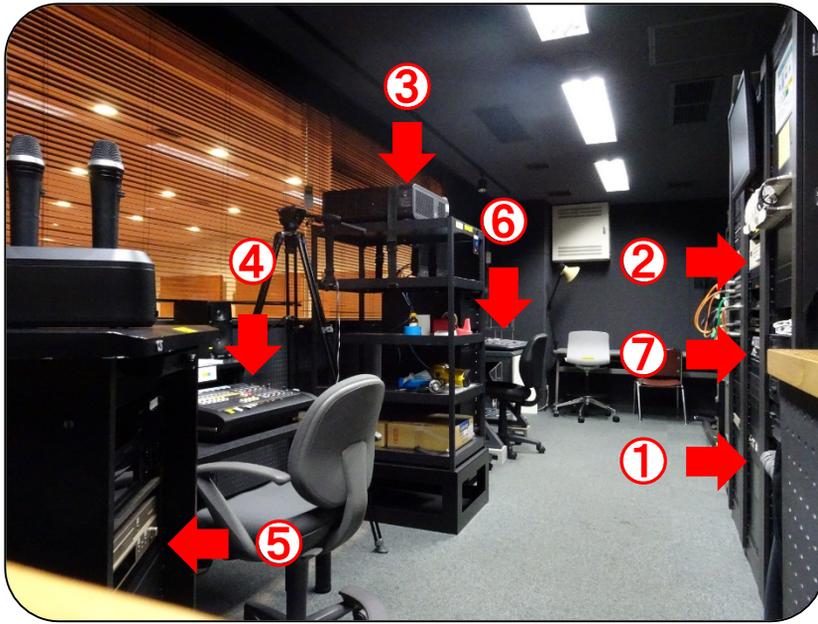
◎舞台吊物関係

- ・化粧扉
- ・バトン
- ・引割緞帳

◎その他

- ・大型スクリーン

調整室について



④ 音響調整



① 主電源、HDMI、RGB端子



⑤ CDプレイヤー



② スイッチャー



⑥ 照明操作



③ プロジェクタ



⑦ BD/DVD、VHSデッキ

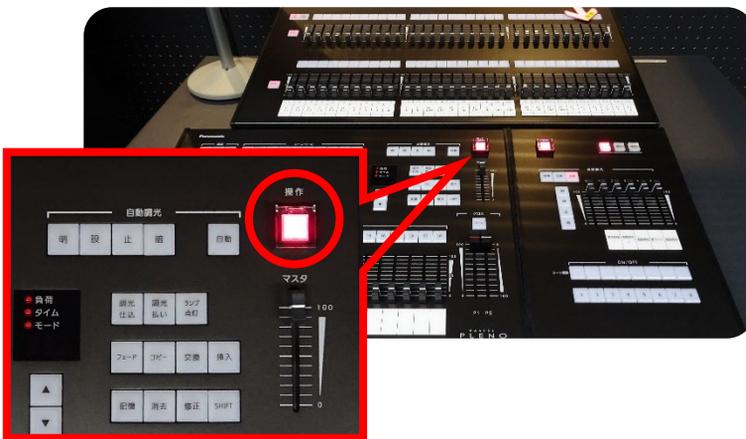
調整室機器の電源入切について



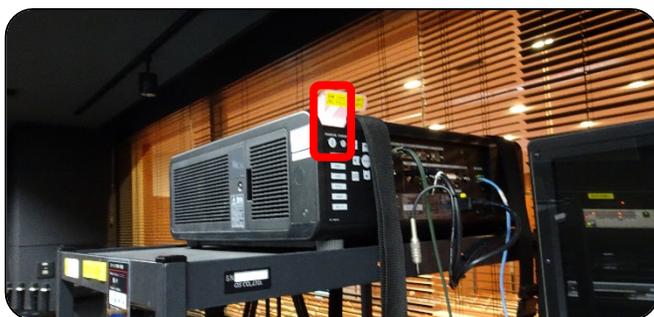
①調整室内の「ラック主電源」を押します。
音声ミキサー、音響ワゴンに電源が入ります。



必要に応じて照明操作盤、プロジェクタの電源を入れてください。



②照明操作盤の電源を入れます。

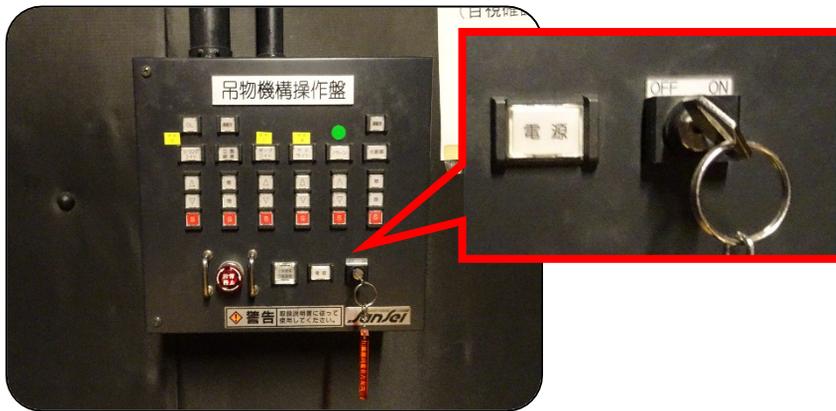


③プロジェクタの「POWER ON」を押します。

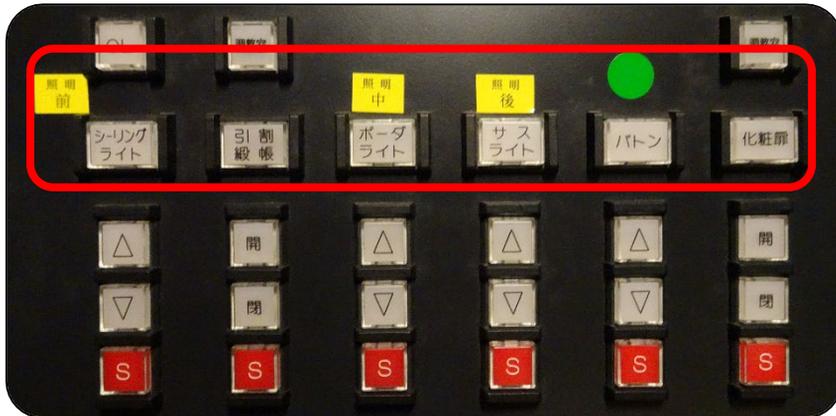
使用後は1～3の電源をきってください。
※プロジェクタは「STAND BY」を2回押すと電源が切れます。

舞台吊物関係の操作について

①下手側舞台袖にある吊物機構操作盤に「電源鍵」を差し込み、ONにしたあと「電源」ボタンを押します。



②使用する設備のボタンを押します。



- ・化粧扉の開閉
- ・ボタンの昇降
- ・サスライトの昇降
- ・ポーターライトの昇降
- ・引割綴帳の開閉
- ・シーリングライトの昇降

③装置の操作を行います。
「S」ボタンを押すと停止します。

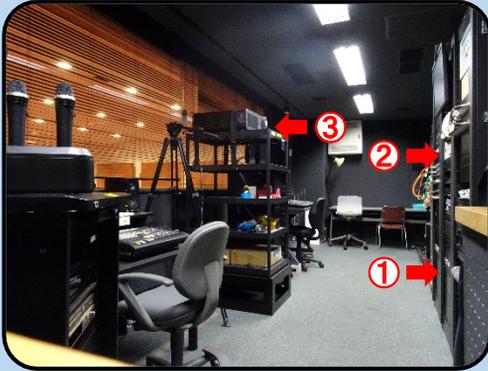
注：化粧扉の開閉、ボタンの昇降を行う際は、必ず操作前に人や障害物がないかを確認してから操作を行ってください。



※化粧扉、引割綴帳の開閉は調整室でも操作することが可能です。

④使用後は必ず「電源鍵」回し、OFFにしてください。

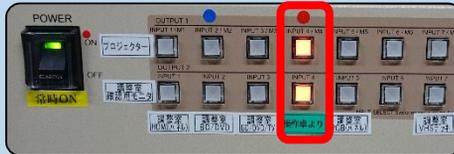
調整室



①調整室内の「ラック主電源」を押します。



②調整室内のスイッチャー「操作卓より」の列のボタンを押します。



③調整室内のプロジェクタの「POWER ON」を押します。



舞台



①化粧扉の開閉でスクリーンを準備します。
(5ページ参照)

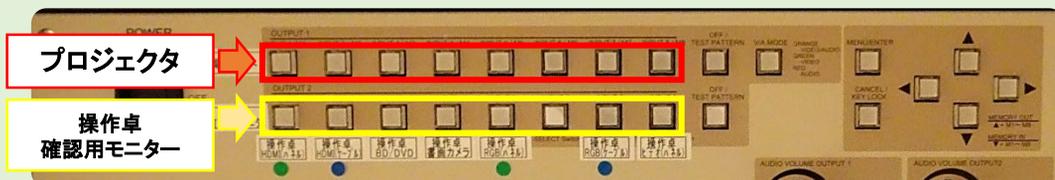
②舞台上の卓にある「ワゴン主電源」を押します。
切替ランプの「舞台袖」が点灯していることを確認します。



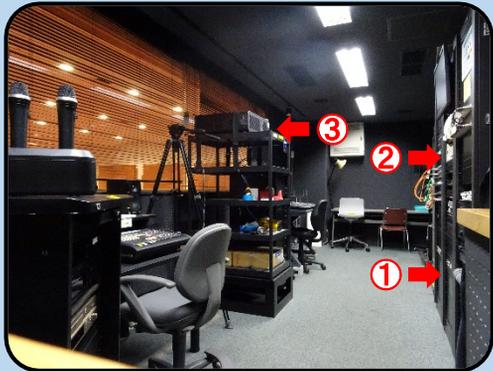
③接続ケーブルは操作卓上のもの(パネル)と、操作卓内部から伸びているもの(ケーブル)があります。使用する端子(HDMI、RGB、コンポジット)をPCに接続してください。



④プロジェクタに映像を写す場合: 内で接続した端子にあったボタンを押します。
操作卓 確認用モニターに映像を写す場合: 内で接続した端子にあったボタンを押します。



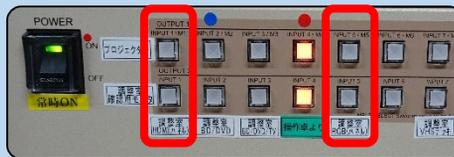
調整室



- ①調整室内の「ラック主電源」を押します。
使用する端子(HDMI、RGB)をPCに接続してください。



- ②接続した端子に合わせ、調整室内のスイッチャー「調整室 HDMI(パネル)」または「調整室 RGB(パネル)」の列のボタンを押します。



- ③調整室内のプロジェクタの「POWER ON」を押します。

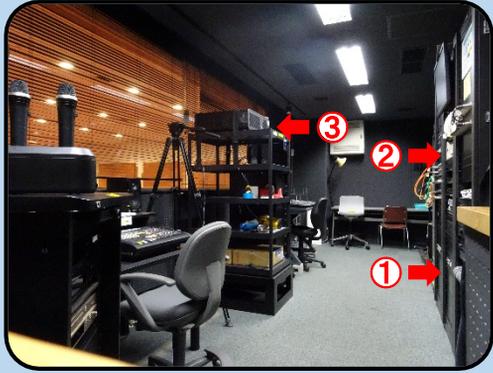


舞台



- ①化粧扉の開閉でスクリーンを準備します。
(5ページ参照)

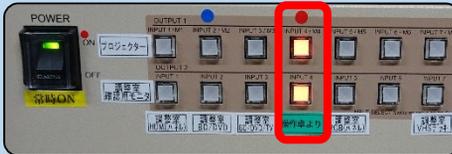
調整室



①調整室内の「ラック主電源」を押します。



②調整室内のスイッチャー「操作卓より」の列のボタンを押します。



③調整室内のプロジェクタの「POWER ON」を押します。



舞台

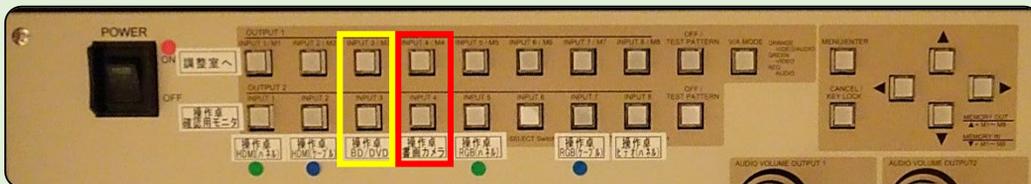


①化粧扉の開閉でスクリーンを準備します。
(5ページ参照)

②舞台上の卓にある「ワゴン主電源」を押します。
切替ランプの「舞台袖」が点灯していることを確認します。



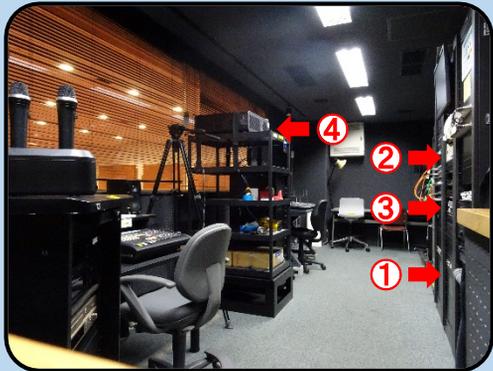
③教材提示装置を写す場合: □のボタンを押します。
BD/DVDを写す場合: □のボタンを押します。



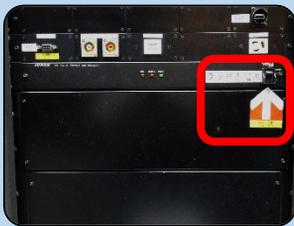
教材提示装置

BD/DVDプレイヤー

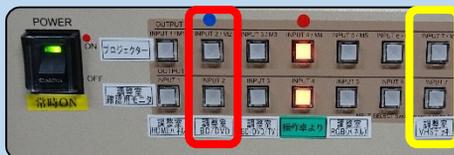
調整室



①調整室内の「ラック主電源」を押します。



②使用用途に合わせて、調整室内のスイッチャー「調整室 BD/DVD」または「調整室 VHSデッキ」の列のボタンを押します。



③BD、DVD、VHSを入れます。



BD/DVDプレイヤー

VHSデッキ

④調整室内のプロジェクトの「POWER ON」を押します。



舞台



①化粧扉の開閉でスクリーンを準備します。
(5ページ参照)

調整室で操作する場合

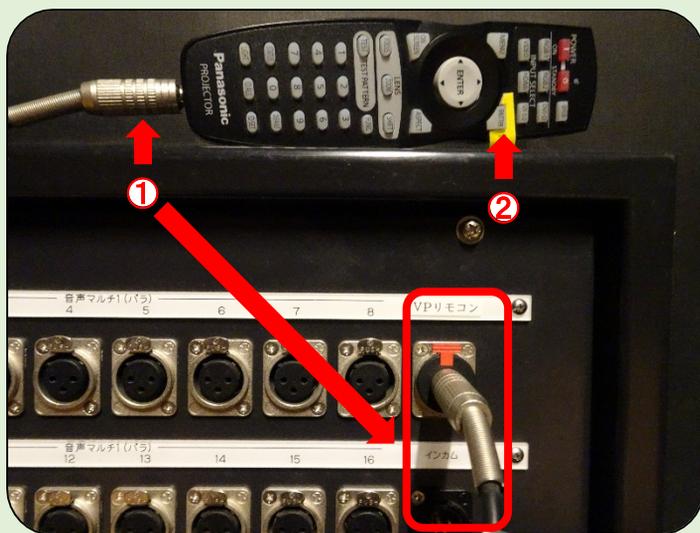


① プロジェクタとリモコンをリモコンケーブルで接続します。

② **MUTE** のタグが付いた「SHUTTER」ボタンを押します。

※再度押すことで投影が再開されます。

舞台上で操作する場合



調整室のプロジェクトとリモコンケーブルを接続します。
※リモコン側は抜いてください。

① 下手側舞台袖にある端子盤の「VPリモコン」とリモコンをリモコンケーブルで接続します。

② **MUTE** のタグが付いた「SHUTTER」ボタンを押します。

※再度押すことで投影が再開されます。

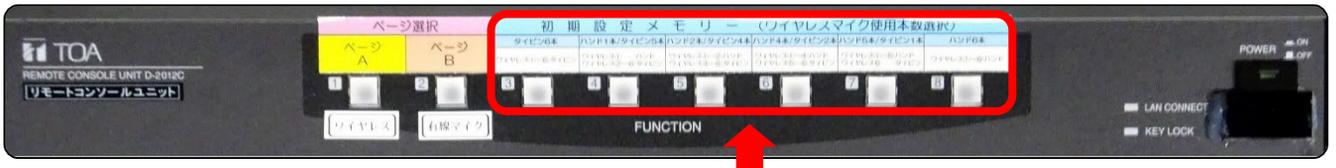
ワイヤレスマイクのハンド型とタイピン型各6本には、青、赤、黄、緑、橙、紫色の色分けラベルが貼付されており、番号が振り分けられています。音量調整の際に参考にしてください。

青	赤	黄	緑	橙	紫
①	②	③	④	⑤	⑥



ワイヤレスマイクのハンド型とタイピン型のラベルが同色のものは同時使用はできません。最大で6本まで使用することができます。

音声ミキサーの「ワイヤレスマイク使用本数選択」のボタンを押すことで、ハンド型とタイピン型をそれぞれいくつ使用するか決定することができます。



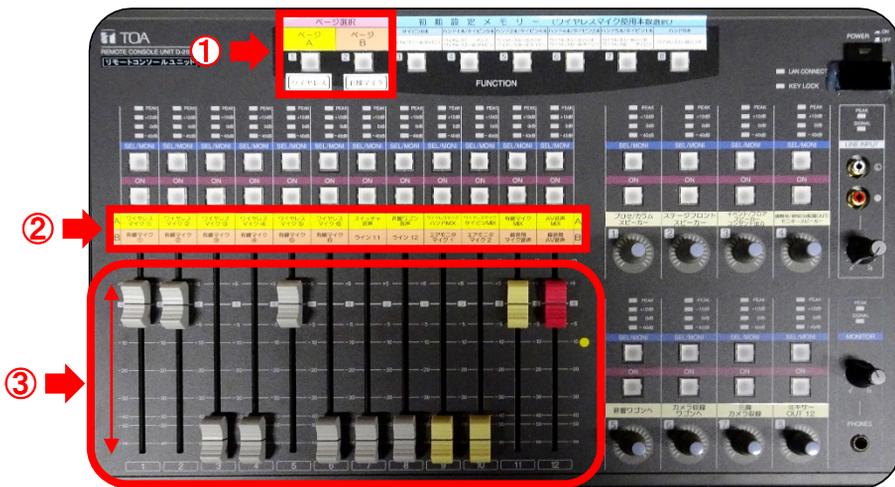
	3	4	5	6	7	8
タイピン型	6本 ①、②、③ ④、⑤、⑥	5本 ②、③、④ ⑤、⑥	4本 ③、④ ⑤、⑥	2本 ⑤、⑥	1本 ⑥	0本
ハンド型	0本	1本 ①	2本 ①、②	4本 ①、② ③、④	5本 ①、②、③ ④、⑤	6本 ①、②、③ ④、⑤、⑥

(注) ハンド型3本、タイピン型3本を使用する設定はありません。

有線マイクは最大4本使用することができます。



- 有線マイク①: 下手(舞台左側) ① 舞台 AV操作卓の有線マイク
- 有線マイク②: 下手(舞台左側) ②
- 有線マイク⑤: 上手(舞台右側) ①
- 有線マイク⑥: 上手(舞台右側) ②



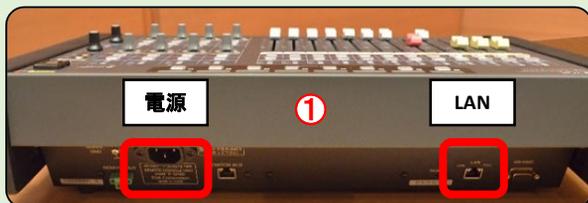
①「ページA」か「ページB」を選択し、それぞれのページに割り振られた音量を調整します。

②マイクの詳細については11ページを参照してください。

		ワイヤレスマイク①	ワイヤレスマイク②	ワイヤレスマイク③	ワイヤレスマイク④	ワイヤレスマイク⑤	ワイヤレスマイク⑥
A		各ワイヤレスマイクの音量調整を行います。					
		スイッチャ 音声	音響ワゴン 音声	ワイヤレスマイク ハンドMIX	ワイヤレスマイク タイピンMIX	有線マイク MIX	AV音声 MIX
		PC、BD/DVDプレイヤー、VHSデッキの音量調整を行います。	CDプレイヤーの音量調整を行います。	全てのワイヤレスハンドマイクの音量調整を行います。	全てのワイヤレスタイピンマイクの音量調整を行います。	全ての有線マイクの音量調整を行います。	全ての機器の音量調整を行います。
B		有線マイク①	有線マイク②	有線マイク③	有線マイク④	有線マイク⑤	有線マイク⑥
		各有線マイクの音量調整を行います。					

③フェーダー(つまみ)を下げると音量が下がり、上げると音量が上がります。

舞台上で操作する場合



①「LAN」と「電源」ケーブルをミキサーに接続します。

②「POWER」ボタンを押し電源を入れます。

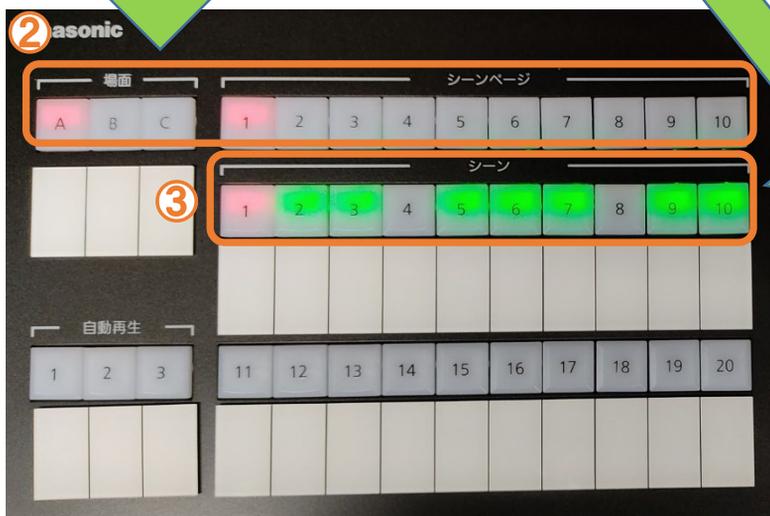
③フェーダー(つまみ)を上下し音量を調整します。
※有線マイク及びワイヤレスマイク個々の音量調整は調整室でしかできません。



【調光卓全体】

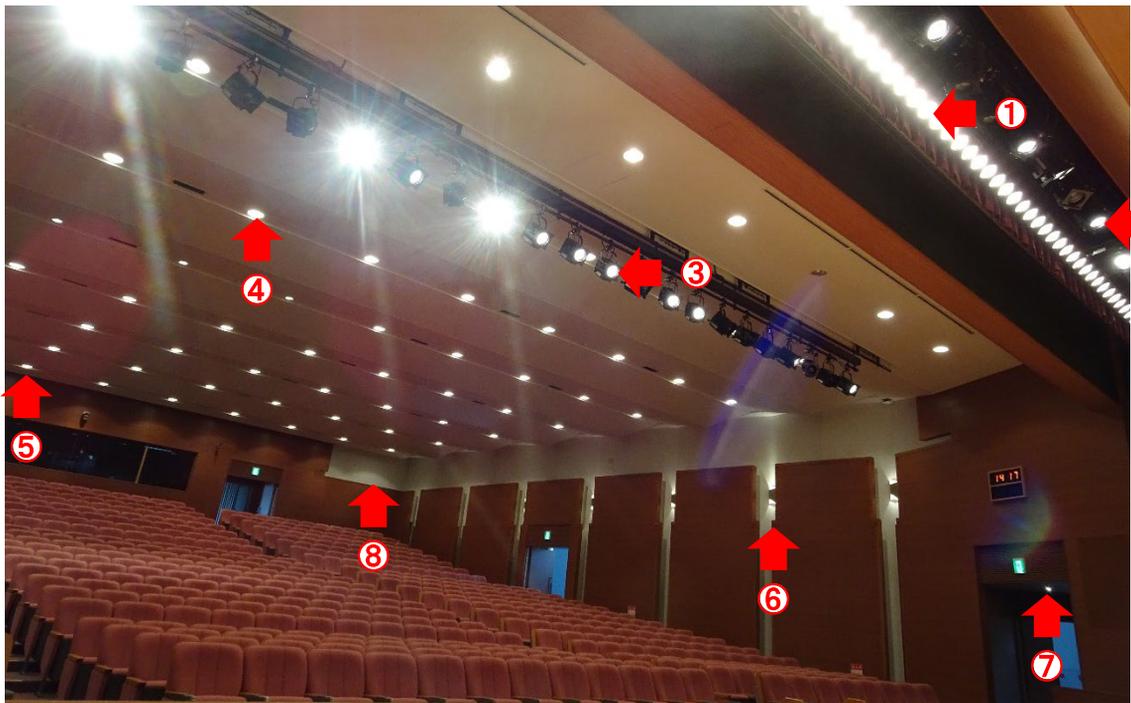


- ① 電源ボタンを押してください。
- ② 電源が入ると、自動的に場面・シーンページのボタンが赤く点灯します。
場面/シーンページ内の点灯していない別のボタンは押さないようにして下さい。
事前に登録済の照明状態に移行できなくなります。
間違っって押した場合は、もう一度【場面：A シーンページ：1】を選択し直して下さい。
- ③ ①～⑩のシーンボタンを押すと自動的に各ボタンに登録済の照明状態に移行します。
1～10ボタンの登録内容については下記の「シーン別照明一覧」を参照して下さい。
※選択中の番号は赤色に、他の選択可能な番号は緑色に点灯します。



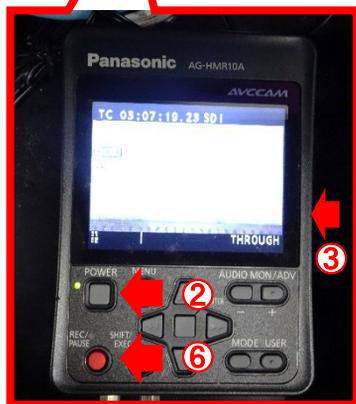
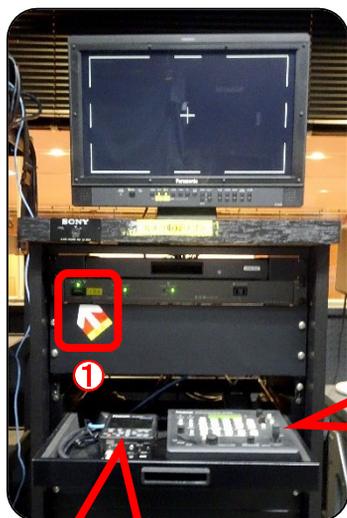
【シーン別照明一覧】

- シーン ①:「舞台B 全照」…舞台と客席の照明がすべて点灯します。
- シーン ②:「舞台B+中央スポット」…舞台のベース照明と中央のスポットライトのみ点灯します。
- シーン ③:「舞台B+全スポット」…舞台のベース照明とすべてのスポットライトが点灯します。
- シーン ⑤:「演者のみ」…演者の立ち位置にある照明のみ点灯します。
- シーン ⑥:「司会+演者」…司会と演者の立ち位置にある照明のみが点灯します。
- シーン ⑦:「質疑」…質疑応答に適した照明が点灯します。
- シーン ⑨:「舞台全消」…舞台の照明が全て消えます。※客席の照明は全て点灯したままです。
- シーン ⑩:「全消灯」…舞台と客席の照明がすべて消灯します。



- ①ベースライト(B): 舞台全体の照明を行います。
- ②サスライト(S): 舞台上の定点の照明を行います。
- ③シーリングライト(CL): 対象物を正面から照明します。
- ④客席照明1: 客席前方部分の調光を行います。
- ⑤客席照明2: 客席後方部分の調光を行います。
- ⑥壁ブランケット照明: 左右壁面部分の調光を行います。
- ⑦通路照明: 2枚扉の通路部分の調光を行います。
- ⑧間接照明: 後方の壁部分の調光を行います。

- ①調整室内のカメラ収録ワゴン内にある「電源」ボタンを押します。



- ②レコーダーの「POWER」ボタンを押します。

- ③レコーダーにSDメモリーカードを入れます。

フォーマットについて:SDメモリーカードの内容を消去して、データを書き込める状態にすることです。
 ※データが消去されてしまいますので、必要があればバックアップをとっておいてください。

- ④カメラリモコンの●印の付いた「1」のボタンを押します。

- ⑤プリセットで大まかな位置にカメラを合わせます。

※細かな位置取りは「ZOOM」ボタンと「PAN/TILT」レバーを操作して行ってください。

- ⑥レコーダーの「REC/PAUSE」ボタンを押します。

AG-HMR10A(レコーダー)取扱説明書

(画質設定やフォーマットのやり方等については以下URLの取扱説明書のページを参考にしてください)

https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/03_doui.html?code=VQT3U95&name=AG-HMR10A%20メモリーカードポータブルレコーダー&pagetype=C&lang=ja